

「咽頭・喉頭・気管狭窄に関する全国疫学調査」 について

加古川中央市民病院呼吸器内科では、京都大学耳鼻咽喉科と共同して、上記の研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。本研究は日本気管食道科学会において、推進するプロジェクト研究として採用されております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

〔研究概要及び利用目的〕

咽頭・喉頭・気管狭窄症の実態は明らかではないため、適切な診療を受けられず、病脳期間が長期にわたる患者も少なくありません。本研究では、上気道狭窄に関する全国疫学調査を行うことにより、咽頭・喉頭・気管狭窄症に関するエビデンスを蓄積し、診療のガイドライン作成の礎とすることを目的としています。

〔研究期間〕

研究期間：加古川中央市民病院長承認日～2022年10月31日

研究対象期間：2013年1月1日～2017年12月31日

〔取り扱うデータおよび試料・情報の項目〕

2013年1月1日～2017年12月31日の期間に、咽頭狭窄症、喉頭狭窄症、もしくは気管狭窄症の診断のもと診療を行った方の下記の情報を収集いたします。

- ・年齢、性別、原因となった疾患、症状、発症時期、罹病期間、治療内容と経過等

〔個人情報保護の方法〕

符号表を作成の上、登録番号を付与し、以降のデータの取扱は全てこの症登録番号に基づいて実施しますので、患者さんの氏名が参加施設から検査施設へ知られることはありません。データシートを作成する際には登録番号のみを入力し、匿名化します。符号表についてはパスワードをかけ各施設で保管します。本研究から得られた成果については、研究者が学会等において口演あるいは論文発表を行うことがあります。その場合も患者さんが特定されることがないように行います。

〔データおよび試料提供による利益・不利益〕

利益：研究にご協力いただいた患者さん個人には特に利益になるようなことはございませんが、この研究の成果によって将来有効な治療を示すことが出る可能性があります。

不利益：本研究では、日常診療で得られた情報を用いるため不利益はありません。

〔登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて〕

全ての試験の記録および結果は、パスワードをかけ加古川中央市民病院において情報管理責任者が研究終了後5年間保管する保管する。

電子媒体については、インターネット接続のないパソコンにおいて管理を行い、紙媒体については情報管理責任者が鍵のかかる専用棚（加古川中央市民病院 3F 医局秘書室）において保管します。

【研究成果の公表について】

本研究から得られた成果については、研究者が学会等において口演あるいは論文発表を行う場合は発表の時期、内容、方法について研究者間で討議して決定するという手続きをとります。公開する内容には個人を特定可能な情報は含まれません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように廃棄できない場合もあります。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 呼吸器内科
西馬 照明 主任科部長
連絡先079-451-5500